

RM Viewer / RM Com

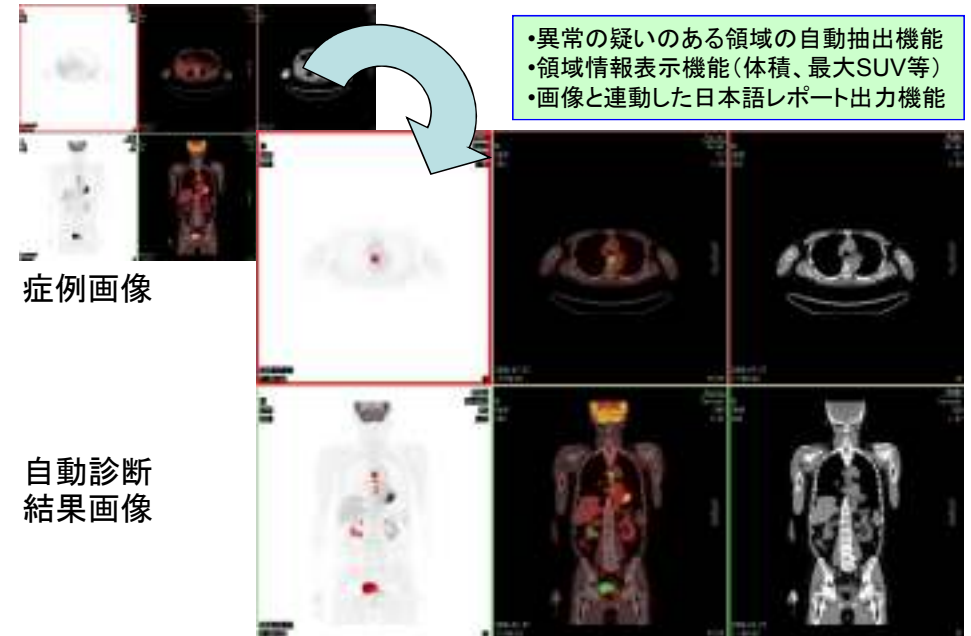
読影医の読影医による読影医のためのビューワを目指して

特長

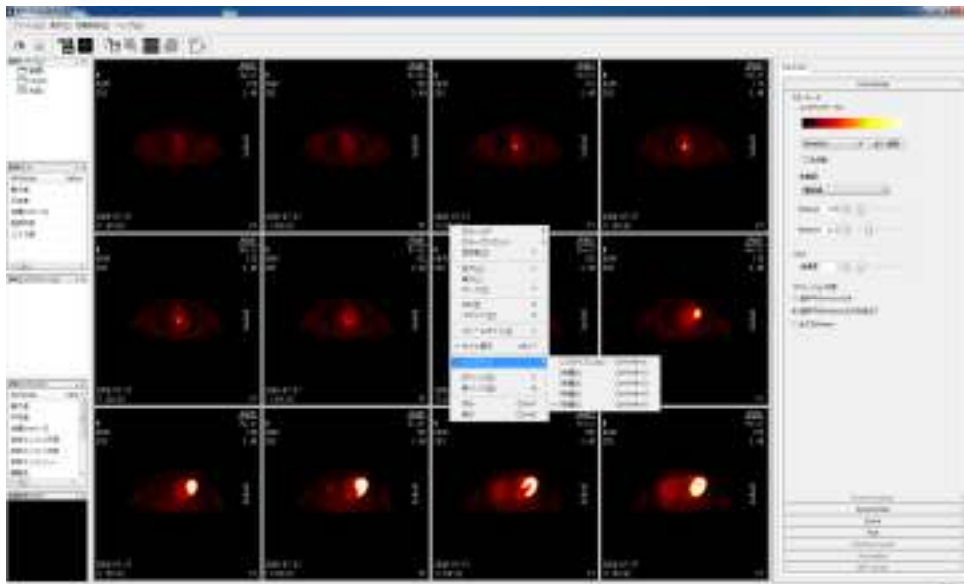
1. PET/CT/MRI等の画像読影専門医とコンピュータシステムの専門家による共同作業で設計した使い易く高性能のビューワ
2. ビューワ利用者の希望に沿う機能をきめ細かくサポート
画面構成・画面内容・領域指定・計測・所見入力等の操作性
患者データを容易に検索できるユーザインターフェース
医師毎の固有の読影環境を保存・再現
患者説明等のために画像・所見等を任意形式で保存
3. 読影専門医と同じ診断アルゴリズムによる自動診断機能(研究開発中)
(本機能は横浜国立大学と横浜市立大学医学部で共同研究中の成果を技術移転して実現します。(RSNA2009にて論文採択))
4. 診断結果(マスク)複数表示機能(新機能)
造影剤注入前、注入後早期・中期・後期などで個別に作成したマスクデータを集約して1枚の画像上に重畳表示可能
PETのDelayed Scan 読影対応用に、元画像の集積マスクとdelayed画像の集積マスクを元画像上で比較可能

がん自動診断機能の紹介 (研究開発中)

症例画像からがんの疑いのある領域を自動的に抽出し、症例画像と重ねて表示する機能を開発中です。

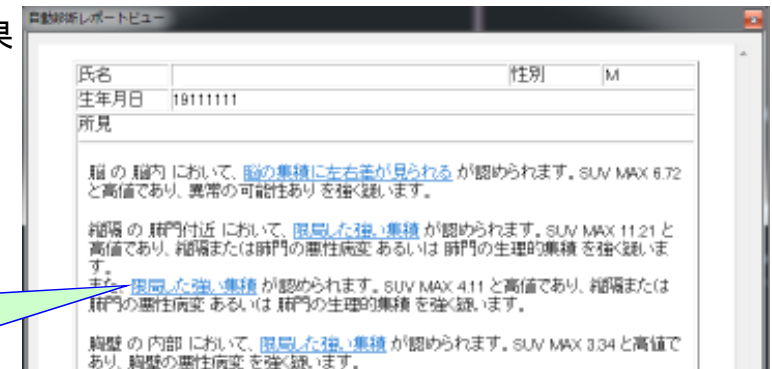


PET画像の表示例 (PET画像を5枚毎にリスライスしたタイル面表示)



自動診断結果レポート

文章中から対応する集積が写るスライスを逆引きして表示できる



想定シチュエーション

- 医師が通常通り読影した後、見落とし領域がないか参照する
- 領域の最大SUV、体積等の情報を自動計測させる
- 事前スクリーニングとして利用し、異常の疑いのある領域を特に重点的に読影する

主な機能一覧

| 機能 | 概略説明 |
|--------------------|--|
| 1 | ウインドウ配置は、左記10パターンから選択可能。 最大3シリーズまで同時に表示可能。 同一シリーズについて、Axial、Coronal、Sagittal、MIP画像を升の数だけ表示することも可能。 |
| 2 全画面表示 | 選択した画面を1つだけ表示。 |
| 3 タイル面表示 | 2×2～4×5のタイル面表示。リスライス厚の設定も2～5で可能。 |
| 4 カラー選択 | 基本配色から選択し、色調補正や色範囲の変更、反転なども可能。 |
| 5 DICOM情報の表示 | 患者名、性別、年齢、患者ID、撮影年月日、系統名、表示種別、フレーム番号、スライス厚、スケール、モダリティの表示が選択して可能。 |
| 6 SUV値(CT値)を表示する | マウスの左クリックで値を表示。 |
| 7 DICOM画像の入力方法 | PACS等の画像蓄積サーバーにDICOM通信で接続。 画像蓄積サーバーにイントラネット接続し、ファイル共有を実施。 DVD-RW等の媒体を利用。 |
| 8 シネ再生 | シネ再生アイコンのクリックによりMIP画増を自動回転表示。 動画ファイルとして保存可能。 |
| 9 MIP画像再作成 | 値の範囲指定をすることにより、その範囲だけのMIP画像を作成表示。 |
| 10 同期 | シリーズ間のフレーム同期。Axialの同期方向のずれも補正可能。 |
| 11 フェージョン | 任意の比率で濃さの調整が可能。 |
| 12 フェージョンの位置合わせをする | MIP以外の任意の画面で位置合わせが可能。 |
| 13 アノテーション | 点、線、円、多角形、球、立方体が可能。作成図形の移動等も可能。 |
| 14 選択マスク | ある1点から、上下指定した範囲内の画素値で隣接する領域部分にマスクを作成。 |
| 15 全身マスク | 指定した最大値・最小値の範囲内の画素値の画素を全て含むマスクを作成。 |
| 16 医師コメント | マスク作成時に、コメントを付加出来る。 |
| 17 がん自動診断機能(開発中) | PET-CT画像をもとに全身のがんの可能性を指摘する。 |

利用環境

| サポートするパソコンの最低スペック(診断機能使用時は別途提示します) | | |
|------------------------------------|-----------|---------------------------|
| 1 | CPU能力 | Pentium4 2.8GHz |
| 2 | メモリ/HDD容量 | 1GB以上の空き領域/2GB以上の空きディスク容量 |
| 3 | OS | WindowsXP SP3、Windows 7 |

- ・安全に関するご注意: 商品を安全にお使いいただく為、ご使用前に必ず取り扱い説明書をよくお読みください。
- ・記載されている各社名及び各商品名は、各社の商標または登録商標です。
- ・カタログ掲載商品の仕様及び外観は、改良の為予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

本製品には特許申請中の技術が使われております。

2011年9月

販売元

開発元 Realmedia Lab.

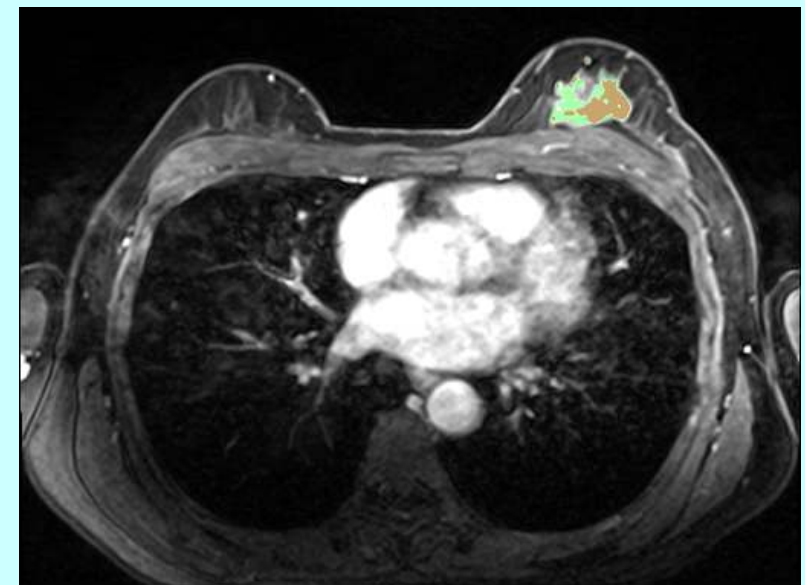
株式会社リアルメディアラボ

〒240-8501 横浜市保土ヶ谷区常盤台79-7
横浜国立大学インキュベーション施設内
Telephone :045-331-1202
URL: <http://www.realmedialab.com>



RM Viewer / RM Com Version2

(がん診断支援システム)



MRI画像で造影剤の経時変化をマスク表示